

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31 - 11	中学校	美 術	美 術	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	美術 703	美術 1 美術との出会い		

1 編修の基本方針

— これまでも、これからも大事にしていること —

本教科書は、弊社が美術の教科書を発刊して以来、「発達の段階に応じた学びの大切さ」を重視して発行しています。中学生という13歳、14歳、15歳に応じた成長を後押しできる美術の学びが重要と捉えています。

美術は何のために学ぶの？ に応える学びがつまっています

変化が激しく予測困難な現代社会の中で、生徒たちには、自ら課題を発見し、試行錯誤しながら解決方法を探し、他者と協働して新たな価値を創造する力が求められています。

本教科書は、それぞれの発達の段階をきめ細かく分析し、各学年の資質・能力に合わせた美術の学びが最も重要であると捉え、生徒の成長に応じた3分冊として内容を構成しました。

また、生徒が持続可能な社会の担い手として成長するために、美術の学びが生活や実社会に生かされていることを実感でき、他者との共存や、社会を創造していく力が育まれることを目指して編修しました。

基本方針 1 生徒の成長に合わせた美術の学び

中学校3年間の成長と大きく関わる美術科。
自己・他者，生活・社会，世界・未来へと深く関わり合う題材構成。

知識及び技能

思考力，判断力，表現力等

学びに向かう力，人間性等



友達との会話から、
見方を広げる姿



発想，構想する
学びの姿

基本方針 2 生活や社会とつながる美術の学び

地域や社会に関心を持つことができ、自分たちのこととして受け入れ、課題を解決する題材構成。



美術作品に触れ、
感性を育む姿

基本方針 3 新しい価値を創造する美術の学び

意欲的に学び豊かな感性を育み、よりよい人生を送ることができる題材構成。

生徒の成長に合わせた美術の学び

中学生という13歳、14歳、15歳の多感な時期は、心も体も大きく成長する大切な時期となります。それぞれの年齢においても、細かい成長の後押しが必要になります。

毎日見ている木の葉っぱも、雨上がりの日にはキラキラといつもと違う表情を見せてくれます。このような新しい見方や感じ方との出会いこそが、美術との出会いです。



小学校図画工作の学び

【義務教育9年間の図工・美術の学び】

美術は、身の回りにある形や色彩などすべてにおいて「造形的な視点」で捉えることで、新しい見方や感じ方が生まれ表現・鑑賞の活動の手助けとなります。また、自己・他者、生活・社会、世界・未来へに対し、これらの項目と美術の学びがスパイラルのように関わり合って成長するイメージで編修しています。

1年生（美術1）では、小学校での学習を基に、中学校という新しいステージにおける「美術との出会い」を大切にしました。

● あっ、こういうことが美術なんだ。難しく捉えることはないんだ。

目頃見ていた何気ない風景も、見方を変えることで気付く視点が美術との出会うきっかけになります。



▲P.2-4 オリエンテーション

著名人による学びの言葉
松任谷由実さん

学びの言葉

曲は色彩，
作詞はデッサン

シンガーソングライター 松任谷由実【東京都・1954～】
多摩美術大学在学中の1972年にシングル「運事は知らない」でデビュー。以来、数々の名曲を生み出す。代表作に「やさしさに包まれたなら」「春よ、来い」など。

▲P.5 学びの言葉



● 成長過程をイメージして。

3年間の成長地図「中学校美術の世界へようこそ」

これから学ぶ3年間の活動が見通せるページ（見開き大）を用意しました。

幼小中の関連や、中学校の発達段階を考慮して掲載しています。

▲P.6-7 中学校美術の世界へようこそ

● 何をどのように学ぶのか「主体的・対話的で深い学び」

美術の教科書ではどの題材においても、主体的に対話的な活動を促します。また、意欲的に自ら学びを深めたいくなるような情報も掲載しています。

教科書は、絵や彫刻、デザインや工芸、鑑賞の3つの領域・分野で構成し、それぞれの活動の入口としてガイダンスページを用意しました。何をどのように学ぶのかをまず理解することができる内容にしています。

〈絵や彫刻など〉



▲P.10

〈デザインや工芸など〉



▲P.38

〈鑑賞〉



▲P.26

構想のプロセス 学習のヒントを提示



▲P.22

全題材・資料ページを通して

- 主体的に学習しやすい情景図版を多数掲載
- 活動がさらに深まるコラムを随所に掲載
- アイデアスケッチなど発想・構想のヒントを随所に掲載
- 「風神雷神図屏風」や「燕子花図屏風」を折り曲げて、屏風について実感できるページを設置（両観音、高精細印刷）

● 何ができるようになるか。

資質能力の3つの柱から、特に1年生では、身の回りの関心から資質能力を育てていける題材を用意しました。

3つの柱を、本教科書では以下のように考えています。

知識及び技能

新たな見方・感じ方から造形的な視点を持って、表したい技能を身につけていくことができる。

思考力、判断力、表現力等

発想や構想する力を育み、造形の見方に変化が生まれ、生徒からの発信、対話、行動力につながる。

学びに向かう力、人間性等

興味関心を持たせ、さらに意欲的に活動させる働きかけをする。

学びの目標

【学びの目標】

- 形や色彩、明暗、質感などに着目し、水加減などを工夫して表す。
- 身近なものの特徴や美しさなどを構想を練ったり鑑賞したりする。
- 身近なものの特徴や美しさなどをと取り組む。

日常生活と美術のつながりを強調



▲P.16 なぜか気になる情景

思考のプロセスを例示
作家の事例からわかりやすく示す



▲P.58 発想・構想の手立て／鈴木康弘

全題材に掲載

● 人生や社会に生きて働く、さまざまな取り組み

美術の学びが、どのように「よりよい人生を送ることができるか」を意識して他教科や地域社会、キャリア教育など豊富な題材や情報を盛り込みました。授業設計の面でもカリキュラムマネジメントに大いに役立ちます。

本文題材には全てに「造形的な視点」

活動する上で「造形的な視点」を身に付けられるよう、図版などを指して問いを示しました。

造形的な視点

材料のどのような特徴を、どのように生かしているだろうか。

▲P.21

造形的な視点

文字のデザインは、どのように工夫されているだろうか。

▲P.42

他教科との連携

その他関連する教科

- 道徳マークを関連する題材で掲載
- 数学や理科、総合的な学習、特別活動など
- 全題材を通してアイデアスケッチ、作者の言葉など発想・構想に役立つ言語活動や国語

社会科 歴史的 分野



▲P.29 美のタイムトラベル

国語、言語活動、外国語

絵文字をつくってみよう

文字を絵と組み合わせたり、形を工夫したりして、文字表現の可能性をさらに広げよう。



▲P.43 文字っておもしろい

アイデアのデータベースを持つ

生活の中で気がついた形や色彩を記録しておきましょう。この記録が今後の表現のヒントやひらめきにつながっていきます。



▲P.49 わくわくコミュニケーション

地域社会との連携

各地の特長ある美術館を紹介 /

各地の美術館への導き

祭りを彩る造形

仙台七夕まつりと故郷復興プロジェクト
数千年の伝統やかな七夕飾りが飾られる祭り。東日本大震災が起きた2011年以降、仙台市内の小・中学校の児童生徒による、約9万羽の折り鶴をついてつくられた「故郷復興プロジェクト」が実施されています。一校一校に復興への願いが込められています。

▲P.57 仙台七夕まつり

▲P.75 美術館へ行こう

キャリア教育

巻頭オリエンテーションでは「学びの言葉」

3分冊構成それぞれに設置。

社会で活躍する人から、美術の学びに興味を持つきっかけが得られるコメントを掲載。

- 美術1：松任谷由実さん (シンガーソングライター)
- 美術2・3上：岡本太郎氏 (芸術家)
- 美術2・3下：井浦新さん (俳優)

「美術1」は、松任谷由実さん /

学びの言葉

曲は色彩、作詞はデッサン

「タマゴは卵形」というような先入観でデッサンすると描けません。見たままを無心に写し取っていくと、不思議なことに、ちゃんとタマゴになります。歌詞をつくる時も、聞く人にイメージさせたい内容を無心に写します。音楽ですから、曲に乗る部分はほんの一部です。曲にならない行間のような部分も考えないと、イメージは伝わらないです。

シンガーソングライター 松任谷由実 (生年：1954)
東京都国立高等学校の1972年にシブヤク「音楽いらいら」でデビュー。以後、数々の名曲を生み出す。代表作に「やさしさに包まれたら」(1981)など。

美術館学芸員のメッセージ

きれいなだけでなく、ちょっと怖い作品や不思議な表現など、いろいろな価値観を知ることができるのが、美術館の魅力です。自分から知らないことを発見するような気持ちで来てほしい。

横浜美術館 主任エデュケーター・主任学芸員 湯山彩子さん

▲P.74 美術館へ行こう

- 鈴木康広 (アーティスト) さんの取り組みから発想・構想のヒントを提示。

- 作者の言葉 掲載図版の作者の声を掲載。作家からの言葉は発想・構想の大きなヒントになる。

2 対照表

教育基本法第2条に示されている教育の目標を達成し、教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように、題材の設定や作品、写真の選択、文章表現などについて十分に配慮しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当箇所
オリエンテーション	一人一人の個性を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう、スタジオジブリ「となりのトトロ」の図版と、松任谷由実さんの言葉を掲載し、美術との出会いの大切さを共有するページを設けました。	第1号、第2号	P. 2～5
中学校美術の世界へようこそ	中学校3年間の美術の学びの取り組みを、生徒自身が俯瞰して捉えることができるようにし、個々の個性を尊重し、自ら進んで意欲的に額数に組み入れるように設けました。幼・小・中の連携を意識しました。	第2号	P. 8・9
教科書ガイダンス・目次	何を学ぶためののかをメッセージで記載しています。また、教科書を通して、授業や学習しやすい誌面の説明や、目次一覧を掲載しています。	第2号	P. 6・7
分野別ガイダンスページ	各分野（絵や彫刻など、鑑賞、デザインや工芸など）に取り組むための導入的要素として、学習や活動がスムーズに取り組めるための導入として設置し心理を求める態度を養い、豊かな情操を培うページとしています。	第1号	P. 10・11 P. 26・27 P. 38・39
本文・題材ページ	表現や鑑賞の全活動において、美しいものや優れたものに触れ、豊かな情操と道徳心を養うことのできる題材を掲載しています。生徒作品・作家作品や、発想構想の手助けとなる活動的な情景写真を取り入れて、健やかな身体を養う題材を掲載しています。	第1号	全般
	表現や鑑賞の全活動において、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度や、自然・環境を意識した題材を通して、生命を尊び自然を大切に、環境を意識した内容を掲載しています。	第3号、第4号	全般
	日本の伝統文化に関わる題材を取り上げ、実際に表現・鑑賞することでそのよさを深く理解できるように工夫しました。	第5号	全般
	我が国や諸外国の美術や文化に触れる機会を設け、その違いや共通点に気づき、それらを通して多様な文化を理解し、尊重する態度を養うことができる内容を設定した。	第5号	全般
学習に役立つ資料	発想・構想する上での思考のプロセスを提示し、取り組み方、アイデアスケッチなどの記述方法を具体的に作家の例を取り上げました。また、身の回りの形や色彩、日常の美術を提示することで思考力、判断力、表現力等の資質能力を育成させる情報を掲載しました。	第1号、第2号、第5号	P. 58～75
	表現活動をする上で、基礎・基本となる技法や安全指導や美術や美術館への関心など、幅広い知識や教養、個々の能力を伸ばし自主自立の精神を養うことができるように設定しました。	第1号、第2号	

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 特別支援教育への配慮

全ての生徒が等しく学べるように、UDフォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、国立特別支援教育総合研究所の大内進先生にカラーユニバーサルデザインの観点から編修を行うなど、特別支援教育の観点に配慮しています。

② 道徳との関連への配慮

教科書全体を通して表現や鑑賞する喜びを味わいながら、美しいものや崇高なものを尊重する心を育むことや、自己の理解、身の回りの人々、家族や学校の人々を敬愛すること、我が国や郷土の伝統と文化を大切にすることなどと関連を図るとともに、特に道徳との関連があるページについては、マークと補足する文章を示しています。

③ ICT活用への配慮

二次元QRコードを付けた箇所では、ICT機器を活用して学習を効果的に進められるように、弊社ウェブサイトコンテンツを用意しています。

④ 保護者への配慮－家庭、地域との連携

美術科がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのような力が身に付くのかをオリエンテーションのページなどで保護者にも伝えるように配慮し、学校・家庭・地域の連携を示しました。

⑤ 伝統文化、言語活動の充実、他教科との関連

美術の学習を通じて学び実感することができるよう、多くの本文ページで掲載及び配慮しました。

特色②

生徒の成長から学びを支える

中学校3年間の成長を後押しするための美術の学び

● 3分冊構成（美術1，美術2・3上，2・3下）の有効性

各学年における資質・能力の育成が大切な意味でも、それぞれの発達の段階に応じた教科書が必要になります。

3冊構成には理由があります。

⇒学習指導要領には「第2学年と第3学年の発達の特性を考慮」と新設されました。

第2 各学年の目標及び内容

〔第2学年及び第3学年の目標と内容〕 3 内容の取扱い

(1) 第2学年及び第3学年では、第1学年において身に付けた資質・能力を柔軟に活用して、表現及び鑑賞に関する資質・能力をより豊かに高めることを基本とし、第2学年と第3学年の発達の特性を考慮して内容の選択や一題材に充てる時間数などについて十分検討すること。

3年間の成長地図 「中学校美術の世界へようこそ」

見開きページで、3分冊で系統立てた主な生徒作品を掲載。
発達の段階に合わせた美術の学びが実感でき、学習意欲がわき3年間の見通しが持てるページを用意しました。

▶P.6・7



● 題材学習を支える鑑賞・技法・色彩の資料を充実させました。

現行教科書より
8ページ増



▲P.62



▲P.65



▲P.68



▲P.70

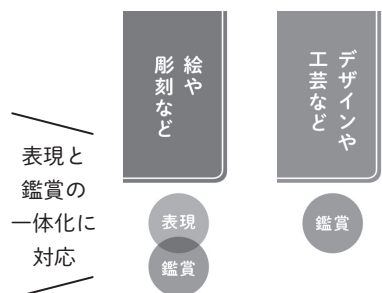
● 特別支援教育・ユニバーサルデザインに対応しました。

特別支援教育や色覚特性などの観点から、誌面デザインを検証しています。

活動する分野や、領域について、見やすい色で判別できるインデックス表示をしました。

題材名は見やすく、何を取り組むのかを明確に読み取れるようにしました。

- 主文（本文）や、図版解説などの文字については分かりやすく、読みやすいよう配慮しました。
- 掲載図版のサイズでは大小バランスを考慮して、分かりやすいようレイアウトしました。



UD
フォント
使用

感じ取ったことをスケッチに

見つめると 見えてくるもの

本教科書の特色表

基本事項	教育基本法の遵守	・教育基本法第二条に示されている教育の目標を達成し、教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように、題材の設定や作品、写真の選択、文章表現などについて十分に配慮しています。
	学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された目標を受けて、全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮しています。題材は、学習指導要領を基に「表現」及び「鑑賞」領域のもと「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の3つの分野に分け、活動の内容を把握しやすいように示しています。 ・学習指導要領で示された目標に基づき、全ての題材において「学習の目標」を示しています。 ・〔共通事項〕は、「造形的な視点」とし、教科書全体で取り扱うとともに、活動と〔共通事項〕を結び付けられるように設定しています。また、より造形的な視点で身の回りや社会をとらえることができるようページレイアウトを工夫したり、学習を補足するための特設ページや資料ページも設けています。
	公正性	題材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断片的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを、十分に吟味・検証しています。
	正確性	検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統	発達の段階への配慮 (小, 中, 高連携)	それぞれの領域・分野の中で、生徒の発達に十分配慮した題材を設定し、系統立てた表現題材で構成しています。
	配列・分量	・地域や学校の実態に合わせて、題材を選択したり組み合わせたりできるよう工夫しています。 ・題材での学びを次の活動へ生かせるよう、題材に系統性を持たせています。
	主体的・対話的で深い学びの実現	・「この教科書で学ばみなさんへ」のページにおいて、美術の学びに向かうメッセージを設けました。 ・「造形的な視点」や「学習の目標」、教科書の使い方を共有し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫しています。 ・生徒が自分の活動を振り返り、意欲的に自ら興味関心が持続できるよう設定しています。 ・生徒が考えを伝え合ったり、友達と相談したりしながら活動を行う様子を紹介し、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように工夫しています。 ・オリエンテーション、特設ページを設け、生徒が「造形的な見方・考え方」を働かせて、発想構想ができるよう、題材の設定に十分に配慮しています。
	社会に開かれた教育課程・カリキュラムマネジメントの実現	・オリエンテーションや特設ページを設け、美術科で育む資質・能力について保護者や教科書を見る人たちと共有できるよう工夫しています。また、アーティストやデザイナー、著名人を取り上げることで美術が社会や生活の中で生かされていることを活用できるよう示しています。 ・社会問題や、地域文化、美術以外の分野の著名人も多く取り上げて、美術での学習が社会とつながっていることを示しています。 ・他教科と関わりのある題材を設定しています。
	言語活動の充実	・発想や構想、鑑賞など様々な場面で生徒がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を紹介しています。 ・「作者の言葉」や、アイデアスケッチを紹介し、形や色彩・言葉で思いを伝え合う活動を促しています。
現代的・社会的課題	伝統文化・多様性の尊重と国際理解	・伝統文化に関わる作品を多く取り上げています。 ・外国の作家作品や、アール・ブリュットの作品を取り上げています。
	社会の持続可能な発展	・持続可能な社会の担い手として成長すべき点や、生命の多様性・共生に関連する作家作品などを取り上げ、社会の持続可能な発展への関心を高める工夫をしています。 ・自然との共生を意識した題材など、環境問題への関心を高める工夫をしています。
	家庭や地域・社会への関心	・題材ページや特設ページにおいて、作品を家庭で使ったり、飾ったりしている場面を掲載しています。 ・安全な社会や防災の観点を造形的に捉えた作品やデザインの工夫などで紹介しています。
	人権への配慮	・あらゆる立場の作家や活動を紹介し、人との触れ合いや共生への意識を高める工夫をしています。 ・互いの活動や表現を認め合う姿を数多く紹介しています。 ・題材ページや資料ページにおいて、平和や人権に関わる作家作品やポスターなどを取り上げています。
その他	デジタル教材の活用	・生徒の学びを深めるためのデジタルコンテンツを制作し、該当題材には二次元コードを示しています。 ・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しています。
	2020東京オリンピック・パラリンピック	・シンボルマークの題材では、オリンピック・パラリンピックのエンブレムを提示し、マークの学習として取り上げています。
	特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	・すべての生徒が等しく学べるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。 ・拡大教科書を制作します。
	判型	・A4ワイド判を採用し、作品や写真をより大きく見やすく、インパクトをもたせて掲載し、生徒の興味・関心を引き出す工夫をしています。
	文字・印刷・製本	・文字は、生徒に読みやすいよう開発された教科書体を使用しています。 ・重さへの負担を軽減するため、軽量化した再生紙の中で最適の良質コート紙を使用しています。 ・表紙は美しい光沢と耐水性のあるコーティングを施し、丈夫で水濡れに対しても耐久性があります。 ・人体への影響が少ない植物性インキを用いて印刷しています。

2 対照表

頁数	教科書の内容	分野	学習指導要領の内容
2-5	美術との出会い/松任谷由美	鑑賞	B鑑
6-7	中学校美術の世界へようこそ	鑑賞	B鑑
8-9	この教科書で学ぶ皆案へ・目次	—	—
10-11	絵や彫刻との出会い	絵・彫	A表, B鑑
12-13	見つめると見えてくるもの	絵・彫	A表 (1) ア, B鑑 共 (1) ア, イ
14-15	じっくり見ると見えてくる	絵・彫	A表 (1) ア, B鑑 共 (1) ア, イ
16-17	なぜか気になる情景	絵・彫	A表 (1) ア, B鑑 共 (1) ア, イ
18-19	人間っておもしろい	絵・彫	A表 (1) ア, B鑑 共 (1) ア, イ
20-21	材料に命を吹き込む	絵・彫	A表 (1) ア, B鑑 共 (1) ア, イ
22-23	墨と水との出会い	絵・彫	A表 (1) ア, B鑑 共 (1) ア, イ
24-25	刷って出会う楽しさ	絵・彫	A表 (1) ア, B鑑 共 (1) ア, イ
26-27	鑑賞との出会い	鑑賞	B鑑, 共 (1) ア, イ
28-29	美のタイムトラベル	絵・彫	B鑑 ア (ア), 共 (1) ア, イ
30-31	絵の中をよく見ると	絵・彫	B鑑 ア (ア), 共 (1) ア, イ
32-37	屏風, 美のしかけ	絵・彫	B鑑 イ (イ), 共 (1) ア, イ
38-39	デザインや工芸との出会い	デ・工	A表, B鑑
40-41	広がる模様の世界	デ・工	A表 (1) イ (イ), B鑑, 共 (1) ア, イ
42-43	文字っておもしろい	デ・工	A表 (1) イ (イ), B鑑, 共 (1) ア, イ
44-45	印象に残るシンボルマーク	デ・工	A表 (1) イ (イ), B鑑, 共 (1) ア, イ

頁数	教科書の内容	分野	学習指導要領の内容
46-47	折って, 切って, 巻いて	デ・工	A表 (1) イ (ア), B鑑, 共 (1) ア, イ
48-49	わくわくコミュニケーション	デ・工	A表 (1) イ (ア), B鑑, 共 (1) ア, イ
50-51	暮らしの中の木の工芸	デ・工	A表 (1) イ (ウ), B鑑, 共 (1) ア, イ
52-53	暮らしに息づく土の造形	デ・工	A表 (1) イ (ウ), B鑑, 共 (1) ア, イ
54-55	自然の美しさから生まれた	デ・工	B鑑 ア (イ), 共 (1) ア, イ
56-57	祭りを彩る造形	デ・工	B鑑 イ (イ), 共 (1) ア, イ
58-59	発想構想の手立て/鈴木康広	—	B鑑
60	鉛筆で描く/水彩で描く	—	A表
61	さまざまな技法で描く	—	A表
62	遠近感を表す	—	A表, B鑑
63	文字の基本	—	A表
64	木版画/コラグラフ	—	A表
65	材料を知ろう	—	B鑑
66	木工の技法	—	A表
67	焼き物をつくる	—	A表
68-69	自然界や身の回りにある 形や色彩	—	B鑑, 共 (1) ア
70-72	色彩の基本・仕組み	—	B鑑, 共 (1) ア
73	日常の中の美術	—	B鑑
74-75	美術館へ行こう	—	B鑑

表の「学習指導要領の内容」は、学習指導要領第2章第6節第2の内容を表す。A表現(1)は「思考力、判断力、表現力等」として発想や構想、A表現(2)は「技能」に関する項目を示し、アは絵や彫刻などに表す活動、イはデザインや工芸などに表す活動に関する事項を示す。B鑑賞(1)アは鑑賞する活動を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」に関する項目を示す。共(1)は共通事項を示し、アは形や色彩などの造形的な特徴を理解するという「知識」、イは自分のイメージをもつという「思考力、判断力、表現力等」に関する事項を示す。また表の「分野」について、「絵・彫」は絵や彫刻などに表す活動、「デ・工」はデザインや工芸などに表す活動、「鑑賞」は鑑賞する活動を示している。

●A表現(1)に関して

A表現の全題材において、生徒が発想や構想していく情景写真を示しています。また、発想や構想のヒントとなる「発想構想の手立て」を題材ページとは別に設定しています。

●B鑑賞(1)に関して

B鑑賞の全題材で、生徒たちが造形的な面白さを感じ取り、自分の見方・考え方を働かせる作家作品を掲載するとともに、表現題材においても生徒作品や題材に関連する作品から鑑賞できる作品を掲載しています。また、オリエンテーションや原寸大作品を掲載しているページもあります。

●〔共通事項〕(1)アに関して

全ての題材の内容に盛り込み、題材ページとは別に、資料ページで色彩など特定の情報が習得できるよう設定しています。

●〔共通事項〕(1)イに関して

全ての題材に「造形的な視点」を設け、発想構想の手助けになる意味合いを掲載しています。

●目標に関して

全ての題材に「学びの目標」を設定し、その題材の目標を共有できるようにしています。